

## VI 令和4年度福岡県学力実態調査の結果

### 1 調査日時

令和4年6月21日（火）

### 2 対象児相生徒

小学校第5学年及び中学校第1学年、第2学年

### 3 調査方法

小学校第5学年 国語、算数

中学校第1学年、第2学年 国語、数学

### 4 調査結果（平均正答率）

#### （1）小学校

第5学年	国語全体	算数全体
大野城市	64.3	69.2
福岡県	59.0	63.6
県平均比	109.0※	108.8※
R3県平均比 [比較]	106 [+3]	109 [-0.02]

#### （2）中学校

第1学年	国語全体	数学全体
大野城市	68.1	60.5
福岡県	63.8	57.8
県平均比	106.7※	104.7※
R3県平均比 [比較]	105 [+1.7]	104 [+0.7]

第2学年	国語全体	数学全体
大野城市	55.4	51.0
福岡県	51.4	44.9
県平均比	107.8※	113.6※
R3県平均比 [比較]	110 [-2.2]	113 [+0.6]

※「県平均比」は「正答率÷県平均正答率」で算出している。

- 全ての学年及び教科において福岡県平均を上回っている。
- 本市の今年度と昨年度の県平均比と比較すると、中学校第2学年の国語のみが下回っている。
- 全ての学年及び教科において福岡県平均比がおおよそ105ポイントを上回っているということは、県内において本市の学力が高いことが分かり評価できる。特に、中学校第2学年の数学において、110ポイントを上回っていることは大変評価できる。

## 5 調査の結果

### (1) 小学校5年生国語

#### ア 学習指導要領の領域別

領域	大野城市	福岡県	福岡県比
知識及び技能(1)(2)(3)	66.2	61.8	107.1
話すこと・聞くこと	76.5	70.5	108.5
書くこと	55.4	49.3	112.4
読むこと	54.8	48.6	112.8

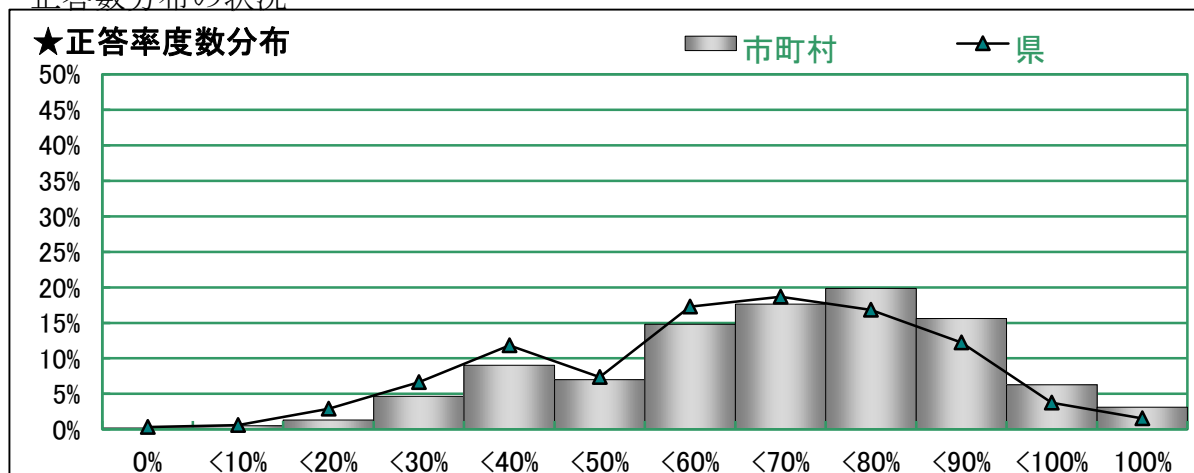
#### イ 評価の観点別正答率

評価の観点	大野城市	福岡県	福岡県比
知識・技能	66.2	61.8	107.1
思考・判断・表現	62.3	56.2	110.9

#### ウ 解答形式別正答率

解答形式	大野城市	福岡県	福岡県比
選択	67.5	62.7	107.7
短答	68.0	63.3	107.4
記述	46.7	38.8	120.4

#### エ 正答数分布の状況



#### オ 分析

- ① 正答率の分布を見ると正答率40%にも若干山があり、2極化の傾向がある。
- ② 3段階評定別人数比から見ると、「評定3(よい)」の児童が44.9%で県平均より10ポイント以上高い。しかし、「評定1(もう少し)」の児童も37.5%存在しており、中間層が17.6%と少ない。
- ③ 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く問題の平均正答率が低い。観点別結果等から、読むことと書くことに課題があると思われる。

(2) 小学校 5 年生算数

ア 学習指導要領の領域別

領域	大野城市	福岡県	福岡県比
数と計算	68.2	62.5	109.1
図形	70.8	65.4	108.3
測定／変化と関係	70.8	65.4	108.3
データの活用	68.0	61.5	110.6

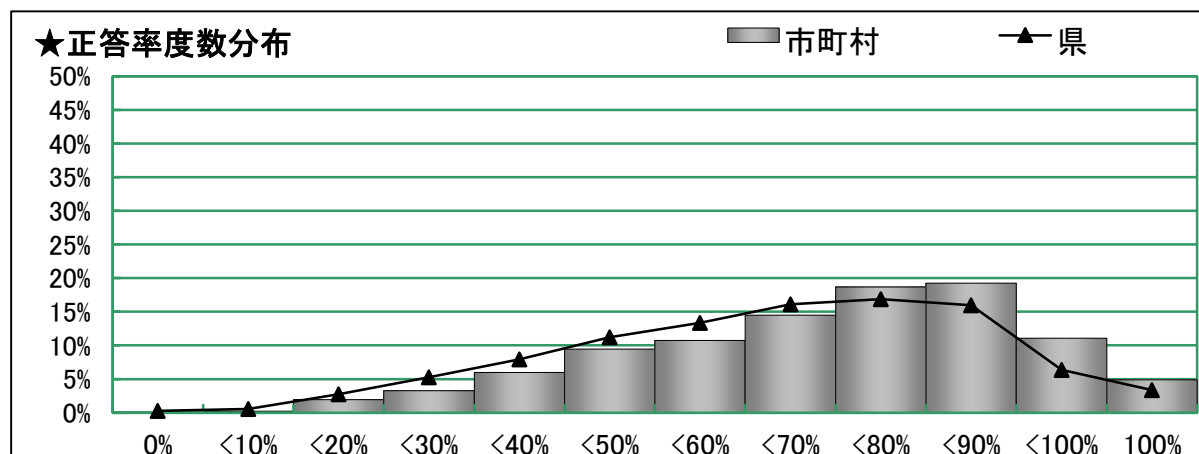
イ 評価の観点別正答率

評価の観点	大野城市	福岡県	福岡県比
知識・技能	76.8	71.3	107.7
思考・判断・表現	56.2	50.4	111.5

ウ 解答形式別正答率

解答形式	大野城市	福岡県	福岡県比
選択	72.1	68.1	105.9
短答	76.7	70.2	109.3
記述	49.4	42.3	116.8

エ 正答数分布の状況



オ 分析

- ① 正答率の分布では本市は 90 % にピークがあり、県が 70%～80% にピークがあるため大きく超え、上位層も多く存在している。
- ② 3段階評定で、評定3の児童が 61.4% と県平均より 10ポイント以上高い。しかし、評定1の児童の割合が昨年度よりも 15%以上少なくなったものの、まだ 26.3%存在している。
- ③ 問題の内容別分析から、割合の関係を、図に表す問題の平均正答率が低く課題があると思われる。解答形式別正答率の記述が県の傾向と同じく低い、県との比較に直すと高い数値を示している。

(3) 中学校1年生国語

ア 学習指導要領の領域別

領域	大野城市	福岡県	福岡県比
知識及び技能(1)(2)(3)	79.3	75.4	105.2
話すこと・聞くこと	64.2	59.6	107.7
書くこと	54.9	50.9	107.9
読むこと	59.3	54.6	108.6

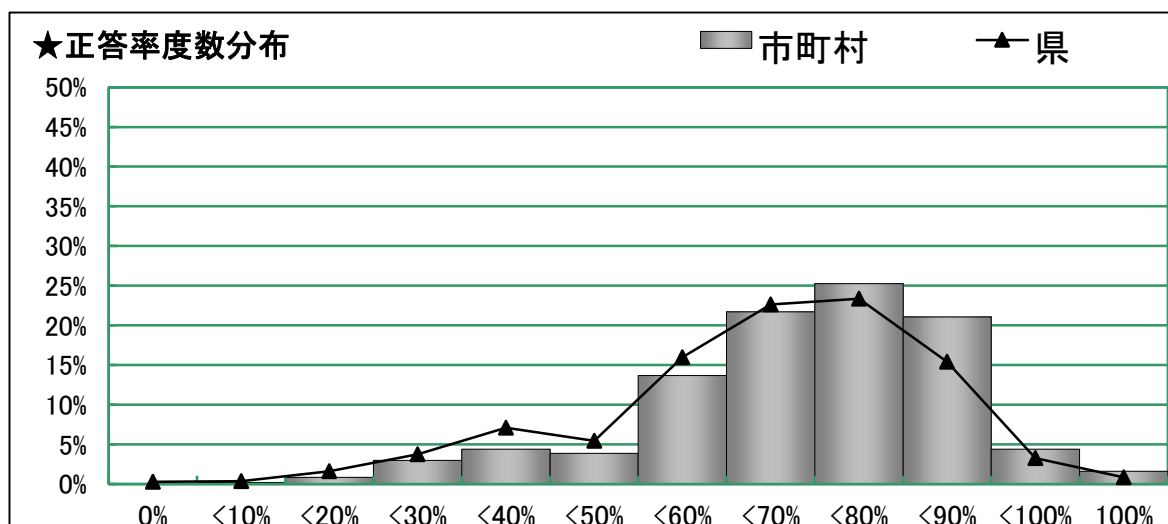
イ 評価の観点別正答率

評価の観点	大野城市	福岡県	福岡県比
知識・技能	79.3	75.4	105.2
思考・判断・表現	59.0	54.6	108.1

ウ 解答形式別正答率

解答形式	大野城市	福岡県	福岡県比
選択	68.3	64.3	106.2
短答	83.4	79.0	105.6
記述	36.6	32.0	114.4

エ 正答数分布の状況



オ 分析 (結果帳票から)

- ① 正答率の分布を見ると、平均正答率80%をピークとしているが、40%に小さなピークがあり、低位層にも一定の分布がある。
- ② 5段階評定で、評定2の生徒が25.5%と評定3の生徒21.7%よりも大きく低位層に当たる生徒が少なくない。
- ③ 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことや複数の叙述を関係付け、登場人物の心情について自分の考えをまとめることに課題がある。

(4) 中学校1年生数学

ア 学習指導要領の領域別

領域	大野城市	福岡県	福岡県比
数と計算	68.2	66.2	103.0
図形	78.8	77.2	102.1
測定／変化と関係	46.0	40.4	113.9
データの活用	34.6	32.8	105.5

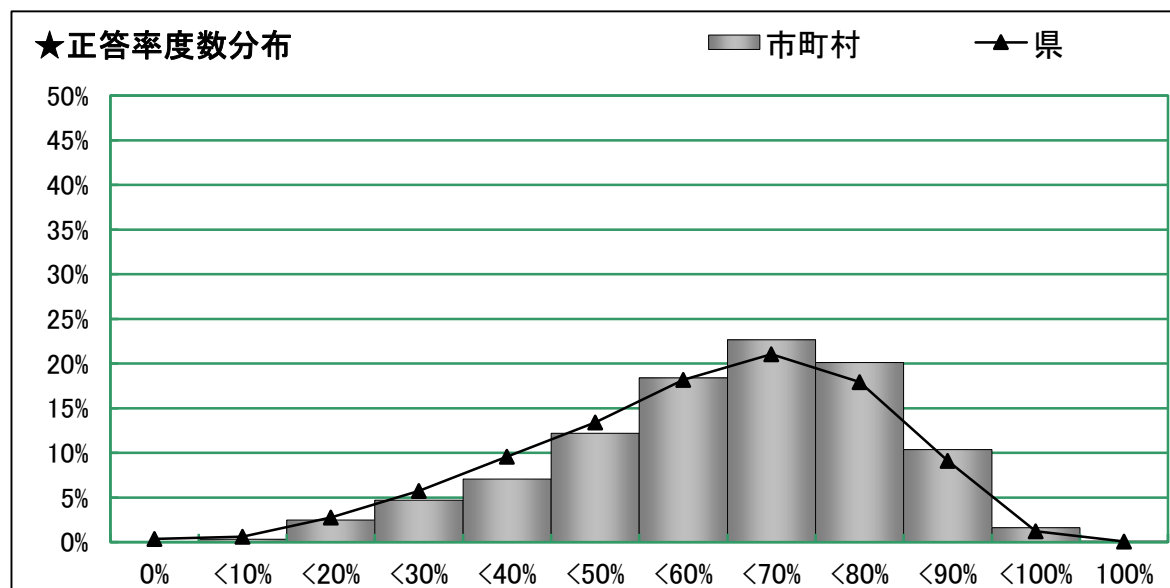
イ 評価の観点別正答率

評価の観点	大野城市	福岡県	福岡県比
知識・技能	65.4	63.7	102.7
思考・判断・表現	52.0	47.8	108.8

ウ 解答形式別正答率

解答形式	大野城市	福岡県	福岡県比
選択	79.8	77.0	103.6
短答	58.8	56.9	103.3
記述	45.5	41.1	110.7

エ 正答数分布の状況



オ 分析（結果帳票から）

- ① 正答率の分布を見ると、平均正答率70%がピークで昨年度よりも伸びている。
- ② 5段階評定で、評定2の生徒が43.5%と評定3の生徒22.7%よりも10%以上大きく下位層に当たる生徒が相当数存在している。
- ③ 小数÷小数（余りあり）の計算については昨年同様課題がある。また、基準量と比較量から、割合を求めることに課題がある。

(5) 中学校2年生国語

ア 学習指導要領の領域別

領域	大野城市	福岡県	福岡県比
知識及び技能(1)(2)(3)	68.2	64.4	105.9
話すこと・聞くこと	63.0	58.2	108.2
書くこと	61.0	56.0	108.9
読むこと	36.0	33.0	109.1

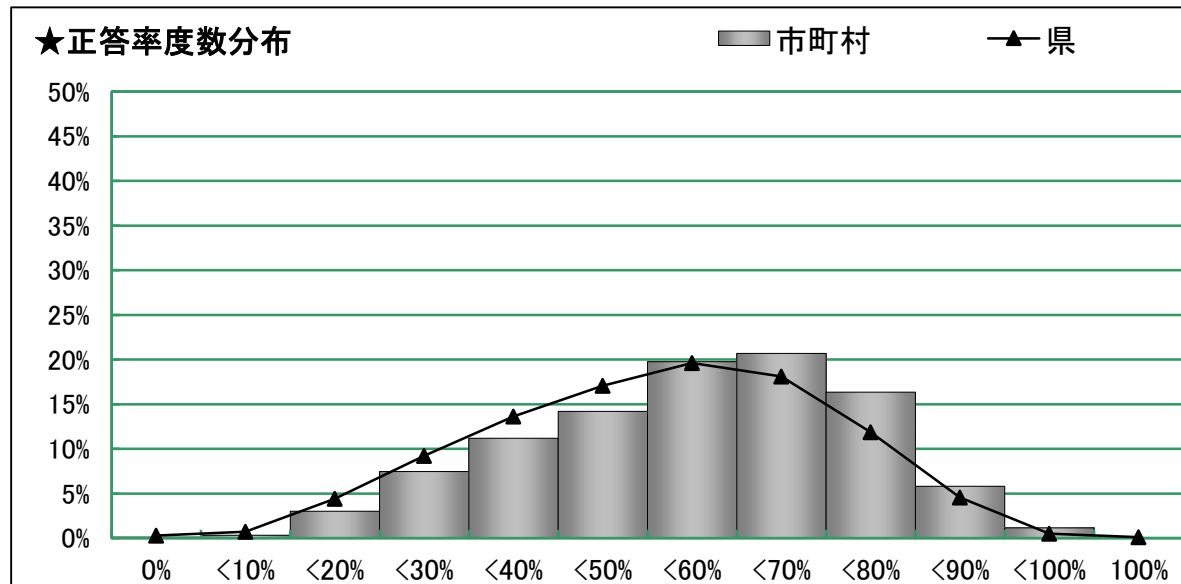
イ 評価の観点別正答率

評価の観点	大野城市	福岡県	福岡県比
知識・技能	68.2	64.4	105.9
思考・判断・表現	50.8	46.8	108.5

ウ 解答形式別正答率

解答形式	大野城市	福岡県	福岡県比
選択	59.7	55.4	107.8
短答	58.8	54.7	107.5
記述	40.0	36.8	108.7

エ 正答数分布の状況



オ 分析（結果帳票から）

- ① 正答率の分布を見ると、平均正答率70%がピークで昨年度より下がっている。
- ② 5段階評定で、評定2の生徒が34.5%と評定3の生徒19.6%よりも約15%以上も大きく下位層に当たる生徒が相当数存在している。
- ③ 文章の内容を、叙述を基に捉え、要旨を把握することや目的に応じて必要な情報に着目し、内容を解釈することに課題がある。

(6) 中学校2年生数学

ア 学習指導要領の領域別

領域	大野城市	福岡県	福岡県比
数と計算	62.8	56.0	112.1
図形	34.0	29.8	114.1
測定／変化と関係	47.6	40.7	117.0
データの活用	46.9	40.6	115.5

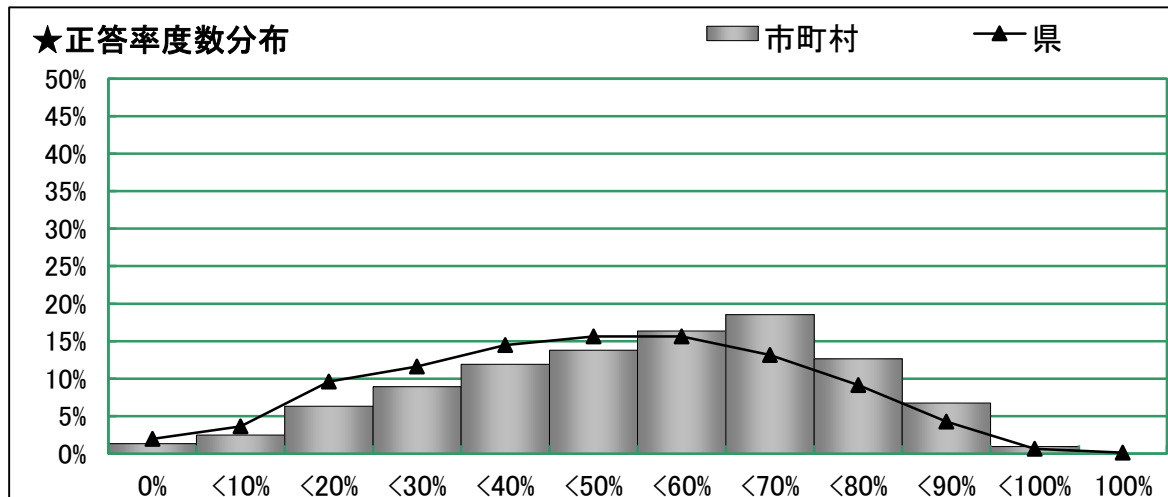
イ 評価の観点別正答率

評価の観点	大野城市	福岡県	福岡県比
知識・技能	57.9	52.5	110.3
思考・判断・表現	44.8	37.9	118.2

ウ 解答形式別正答率

解答形式	大野城市	福岡県	福岡県比
選択	47.5	42.5	111.8
短答	58.8	52.2	112.6
記述	30.3	24.6	123.2

エ 正答数分布の状況



オ 分析（結果帳票から）

- ① すべての領域、評価の観点、解答形式において、県との比較で110Pを上回っていることから、福岡県内でも上位を占める集団である。
- ② 5段階評定で、評定2の生徒が38.2%と評定3の生徒16.4%よりも20%以上も大きく下位層に当たる生徒が相当数存在している。
- ③ 正答率の分布を見ると、平均正答率70%がピークで昨年度より低い。
- ④ 直方体の一辺と側面の対角線によってできる角の大きさの関係の理解や長方形の縦の長さとの面積の関係を、「…は…の関数である」という形の表現に課題がある。